

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	笑顔つながるささやまステイ実行委員会
活動テーマ	福島第1 原発事故で放射能の影響を受けている子どもたちと保護者に向けた保養プログラム



福島第1 原発事故発生から9年がたつが、今なお放射線量の高い地域・スポットが存在する。事故当時18才未満だった子ども38万人を対象に福島県が実施する検査では、231人の子どもが甲状腺がんの「悪性・悪性疑い」と診断され、そのうち174人が甲状腺がんと確定された。放射能の影響を受けている皆さんを招き、体に取り込む放射能を抑え、溜まった放射線を排出し、少しでも被ばくを減らすことを一番の目的としている。

8月8日～12日、5家族21名を篠山に招いた。放射線量の低い丹波篠山で放射能を体内に取り込まない暮らしを送ると同時に蓄積された放射能を排出させるため、安心安全な食材を使った食事を提供した。外遊びが時間も場所も制限されている子どもたちには、川遊び、魚獲り、虫採りなど、自然の中で遊ぶ時間を作った。また、保護者に向けて社会福祉士によるメンタルケアのプログラムを実施した。

短期間ではあったが、放射線量の低い丹波篠山で過ごし、無農薬などの安心安全な食材や調味料を使った食事をする中で、子どもたちも保護者も体内に溜まった放射能の排出につなげることができた。また、豊かな自然の中で、川遊び、魚獲り、虫採りなど、子どもたちは毎日思いっきり楽しく遊ぶことができ、本来は生まれ育った環境の中で養う豊かな発想を身につける一助になったと考えている。

保護者向けには、子どもたちをスタッフが預かり、大人だけでのんびり過ごす時間を作り、社会福祉士によるメンタルケアのプログラムも実施することで、自分を大切にすることに気づいてもらうことができた。